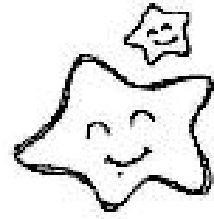


QSK にぬふあぶし

No.332

ね
子の方向の星(北極星)



「比嘉秀次さん、嘉手川重三さんらを偲びながら 沖福連の歩みを振り返るつどい」のご報告

8月30日(金)、沖縄市福祉文化プラザに会場を借りて、標記のつどいが開催されました。昨年は、沖福連2代目会長の比嘉秀次さん、晩年まで精力的に福祉事業に従事した嘉手川重三さんなど、沖福連に深く関わってくださった方々の急逝が続いた1年でもありました。

当日はたくさんの思い出を偲びながら、またスライドなどでも沖福連の歴史を、結成に至るまでの経緯も含めてゆっくりと振り返る時間となりました。お茶とお菓子を囲んでのゆるやかなつどいでしたが、参加していただいたみなさん、スライドの説明や、またそれぞれのお話にとっても熱心に耳を傾けていました。

沖福連は、団体としての発足は1988年ですが、法人格を得たのは1994年10月で、それから数えると今年は法人化30周年に当たります。新しい節目を経て、またこれからの沖福連、これからの家族会に思いをはせるにあたり、会場にともにいるひとりひとりの存在が大変心強く感じられました。



商工会特産品フェア

あいの市

まちの自慢。むらの誇り。

沖縄の産業まつり 奥武山公園・第2会場にて
10月25日(金)~10月27日(日) 3日間
てるしのワークセンターも出店します!
ぜひ覗きに来てみてください!!!



お馴染みの
てるしのパン

紅型クラフト
「せかいにひとつ」



ピパーチ、
コーレーグースー、その他

参加者



募集中



今年も卓球バレー体験教室あります!

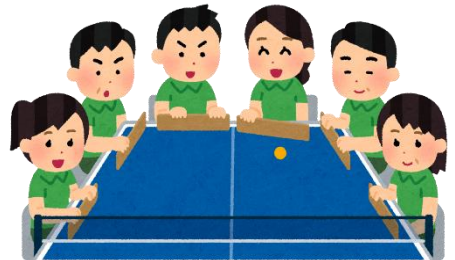
日時:2024年10月14日(月・祝)

場所:サン・アビリティーズうらそえ

主催:日本卓球バレー連盟 (<http://japan-tvf.com>)

お問い合わせ:日本卓球バレー連盟西ブロック普及委員会

TEL: 0857-37-3456 / FAX: 0857-32-6363



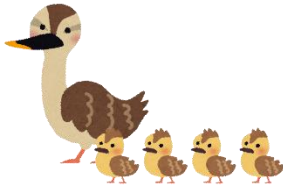
【寄付金/賛助会員加入のお願い】

沖福連の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。
今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口:2千円 / 団体・法人1口:1万円

琉球銀行:南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ:02020-0-37037 (加入者名:公益社団法人沖縄県精神保健福祉会)



沖縄と行列とわたし

増山 幸司

気が短くて、待つことができない。レジもATMもガソリンスタンドも、できればあんまり並びたくない。ちょっとでも列ができてしまうと「また今度でいいや」とすぐに諦める。自分のこういうせっかちさに気づいたのは、わりあい最近のことである。ご飯を炊くのも、我が家の炊飯器には30分で炊ける“うま早”モードがあるにも関わらず、20分で炊ける“お急ぎ”モードばかり使っている。10分しか違わないのに、10分を惜しんで“うまい”要素を捨てる日々。

行列については、沖縄の人たちもやっぱり「並ばない県民性」と言われている。ところが、並ばないはずのそんな沖縄県民が、初上陸コストコ入店の順番待ちで5時間行列したという。そうかと思っていたら、今度は路線バス無料の日、バス停に長蛇ちようだの列ができたと騒がれている。どうしちゃったというのか。仲間ではないのか。

そういえば、コストコ騒動以前に、薄々ながら「沖縄の人たちって意外と並ぶじゃん」と感じたのは、スターバックスやマクドナルドのドライブスルーに、車道にまではみ出して車が列を作っているのを見たときだった。一度や二度ではない。

食や消費への情熱が少しずつ県民を変えたのだろうか。考えてみると、たぶんそうではない。そもそも沖縄の人たちはぜんぜん“せっかち”ではないからだ。むしろのんびりしていて、時間に縛られない。時刻表通りに来ないバスにも不満は言わないし、飲み会は集合時刻をずいぶん過ぎてから人が集まってくるのが通例だ。

暦こよみは気にしても細かい時間にまでは支配されない人々のこのリズムは、沖縄の土地の空気を緩やかなものにしてている。並んで待つことも、そうした人々の感覚と地続きのものにも思える。日常において急ぐ用事なんて、たいていなにもないのである。そういうぼくにも、もちろん急ぐ用事はなにもない。知ってました、はい。

スマホやネットが私たちの暮らしからますます余白を追い出している。隙間は次から次に「意味」で埋め立てられて、社会は待つことができなくなってしまった。こういう時代においては、空白の時間とは非日常であり、実は贅沢なものだ。10分で違いの出る“うま早”しかり、長い時間を帯びたものにはそれだけ味がある。

酒とガジュマルは古いほうがいい。

2024 コロンビアと沖縄 真の自己決定をめざして ～成年後見制度をともに考える～



障がい者や認知症の高齢者などの自己決定は、どうあるべきでしょう。南米コロンビアでは、成年後見のような「代理」支援制度を廃止したそうです。なぜでしょうか。

弁護士のアンドレア・パラさんを招いて、コロンビアでの取り組みを学びながら、ともに考えたいと思います。

② シンポジウム (参加費 800 円)

日程：10月25日(金) 18:30～20:30

場所：沖縄県総合福祉センターゆいホール



③ パラさんを囲んで交流会 (参加費 500 円)

日程：10月24日(木) 18:00～20:00

場所：伊江村福祉センター

① フィールドワーク

伊江島の戦跡や沖縄愛楽園などを巡ります

日程：10月24日(木)・25日(金)

集合：10:30～ 本部港(伊江島との往復チケット各自購入)

主催：真の自己決定をコロンビアと沖縄で考える実行委員会

共催：自立生活センター・イルカ、おきなわ障害者人権センター、

NPO自律支援センターさぽーと、沖縄県精神保健福祉会連合会



◎編集後記◎

9月18日現在、大谷翔平が48で、ほくは47。
9月12日には大谷47に対して、ほくは46だった。なにかと言えば、大谷はもちろん今シーズンのホームラン数、それでほくのほうは今年、自分でお昼のお弁当を作った回数である。ほくの記録は1月からの数字で、大谷は3月下旬からのものなので、いかんせん不公平ではあるのだが、毎年だいたいこの時期には苛烈なレッドヒートを繰り返している。MLBのシーズン終了までにどうにか追い抜ければと思うが、朝の睡眠を犠牲にしてまでお弁当作りをするには、強い意志の力と勝利への執念が必要だ。大谷が勝つかほくが勝つか、このにぬふあぶしが発送される頃には明白な結論が出ています。(増山)



編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)